



Yoshinori Inoue

株式会社チャートリーディング
代表取締役
井上義教さん

りそな銀行時代にチーフディーラーとしてチームを統括。2016年に現職に。著書に『FXチャートリーディング マスターブック』（弊社刊）がある。日本証券アナリスト協会検定会員（CMA）。



ドル/円

●週足チャート (13年10月以降)



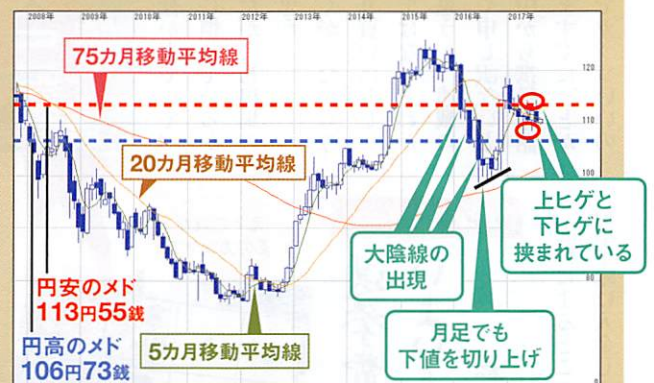
ドル/円の予測

天井を2度付けたことで 目先は調整色が強まる

5月と7月にそれぞれ114円台で天井を付けてしまい、目先は下向きの力が加わりやすい展開となっています。値幅はそれほど大きくないものの、買い方の投げが徐々に持ち込まれ、じりじりと押される展開が現れています。75週の長期移動平均線がサポートとして機能することが期待されますが、逆にこのラインを割り込むと一気に買い方の投げが噴出するリスクも高まります。6月第2週の下ヒゲと長期の移動平均線の強度を確認できれば、反発への期待も高まると考えられますが、安易な押し目買いは危険が伴います。ただ、昨年11月の力強い陽線の効果が残っていれば、下押しもそれほど深くはないと考えられます。

●月足チャート (07年10月以降)

下ヒゲと上ヒゲに挟まれ動きにくい情勢



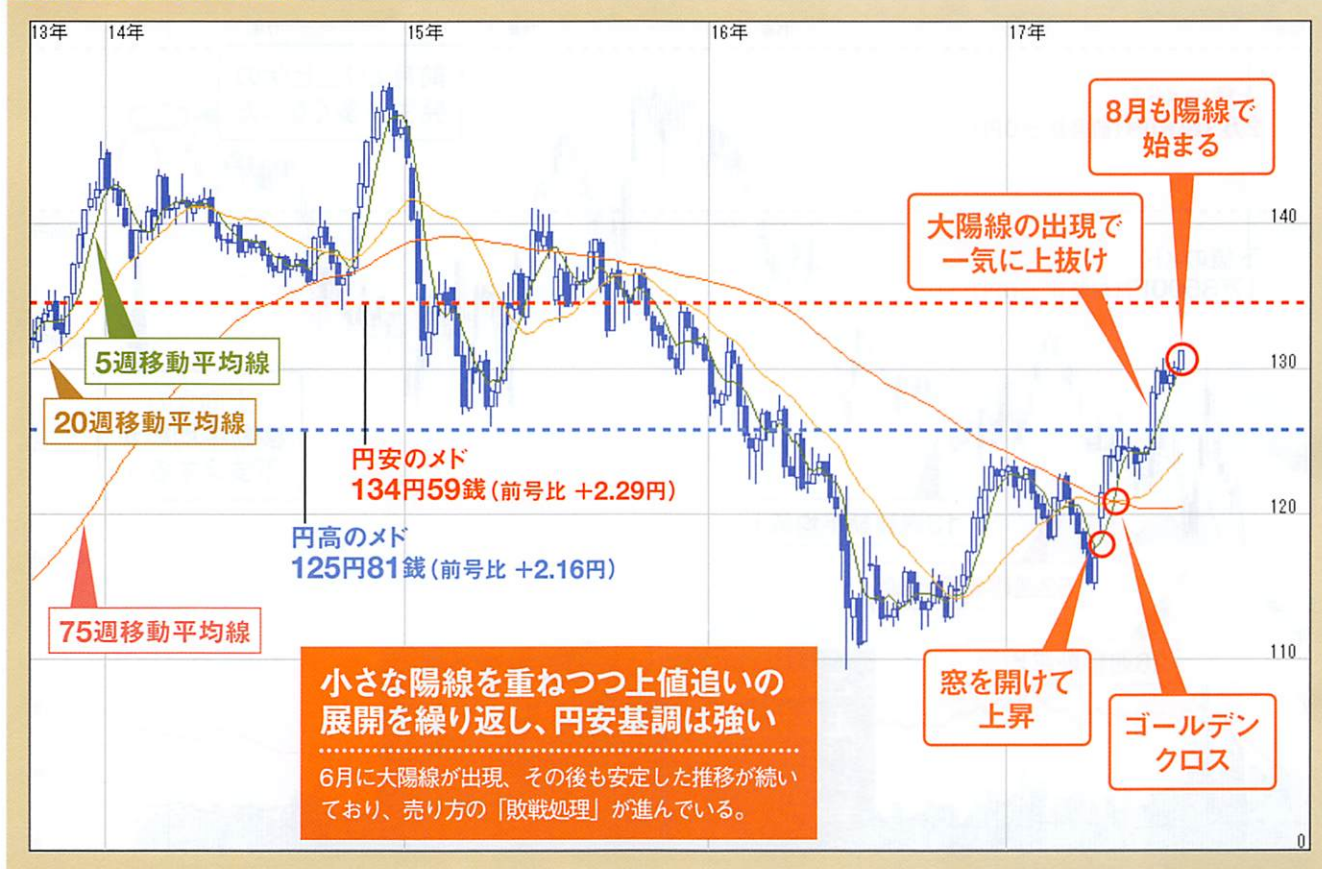
108円台では下ヒゲが出現したが、114円台では逆に上ヒゲが出現しており、円安か円高か、やや決め手に欠ける展開。ただ、7月は上ヒゲが出現、下落リスクが顕在化も。

円高シフトが鮮明なドル／円に対して、ユーロ／円は上値追いの可能性が高まる！

上値の重さが目立つドル／円は買い方が徐々に撤退する展開へ。一方、ユーロ／円は陽線が連続出現、上値追いへ！

ユーロ／円

●週足チャート (13年10月以降)



ユーロ／円 の予測

売り方の買い戻しが続く 円安への動き止まらず

下 値不安の強いドル／円を尻目に、こちらは堅調な推移が続いています。6月下旬に出現した大陽線で一気に上抜けした後も安定した推移が続いており、売り方の悲鳴が聞こえそうです。中期の20週移動平均線に続き、長期の75週線も上向きへと舵取りを変えてきており、上昇トレンド入りを明確に示すようになってきています。4月中旬に出現した窓も「アクセント」として残り、買い方にとっては理想的な流れが続いています。チャート形状は年初以降の下落を完全に取り戻した形を示していますし、今後も売り方の買い戻しが漸続的に持ち込まれる可能性が高いことを考えると、高値圏だからと弱気になる必要はないでしょう。

●月足チャート (07年10月以降)

75カ月線上で連続陽線が出現している



4月の下ヒゲ陽線の出現後も、順調に陽線を重ねており、堅調そのもの。時間の経過がチャートの改善に寄与しており、さらなる上値が見込める展開になってきた。